SONY

OPTICAL DISC ARCHIVE FILE MANAGER

ODS-FM1

⚠警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

このインストレーションガイドには、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**このインストレーションガイドをよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Optical Disc Archive

INSTALLATION GUIDE Japanese

1st Edition (Revised 5)

権利者の許諾を得ることなく、付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および付属のソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。

© 2013 Sony Corporation

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負い兼ねます。

ハードウェアにトラブルが発生して記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負い兼ねます。

万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。

付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core はアメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- Apple、Mac OS、OS X および Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Chrome は、Google Inc. の登録商標です。
- その他、本書に記載されている商品名、会社名等は、その会社の登録商標または商標です。

目次

特長 **4**

システム構成 4

動作環境 **6**

コントロール PC 6

クライアント PC 6

ネットワークについてのご注意 6

準備 **7**

オプティカルディスクアーカイブシステムの準備 7

ODS-FM1 の設定 8

Web 画面の表示 **11**

特長

ODS-FM1 は、オプティカルディスクアーカイブシステムでアーカイブやリトリーブを行うためのソフトウェアです。オプティカルディスクアーカイブシステムに挿入されているカートリッジだけでなく、棚管理を行っているカートリッジについても管理できます。
ODS-FM1 の操作は Web 画面で行います。クライアント PC から Web ブラウザーを使ってアクセスします。

このインストレーションガイドでは、ODS-L10 や ODS-L30M[1)] に接続して使用する場合およびコンピューターにドライブユニットを直接接続して使用する場合のインストール方法について説明します。

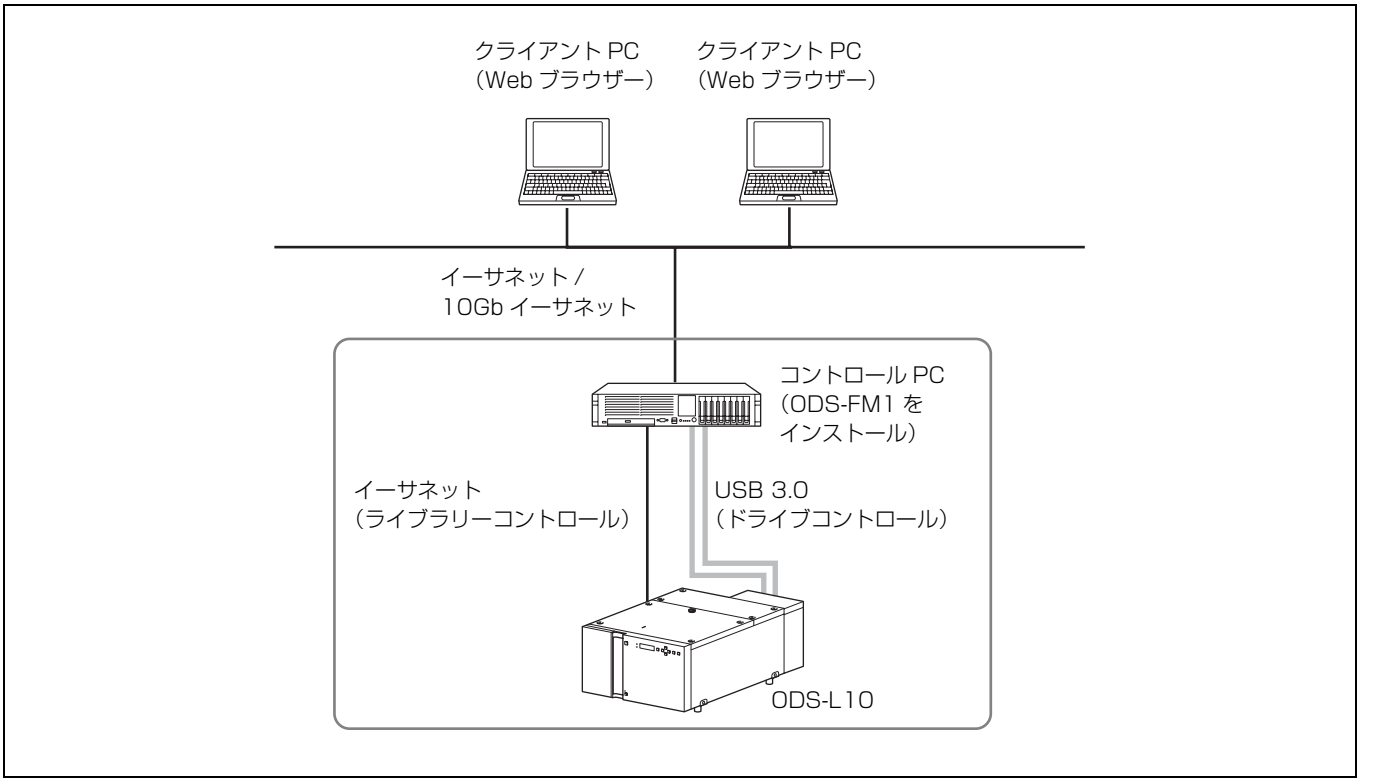
1) ODS-L60E や ODS-L100E を接続して使用することもできます。

システム構成

ODS-FM1 を使用する場合の基本的なシステム構成を以下に示します。
ODS-FM1 をインストールしたコンピューターをコントロール PC と呼びます。コントロール PC をオプティカルディスクアーカイブシステムに接続し、オプティカルディスクアーカイブシステムの制御を行います。ODS-FM1 の操作は、クライアント PC の Web ブラウザーからアクセスして行います。

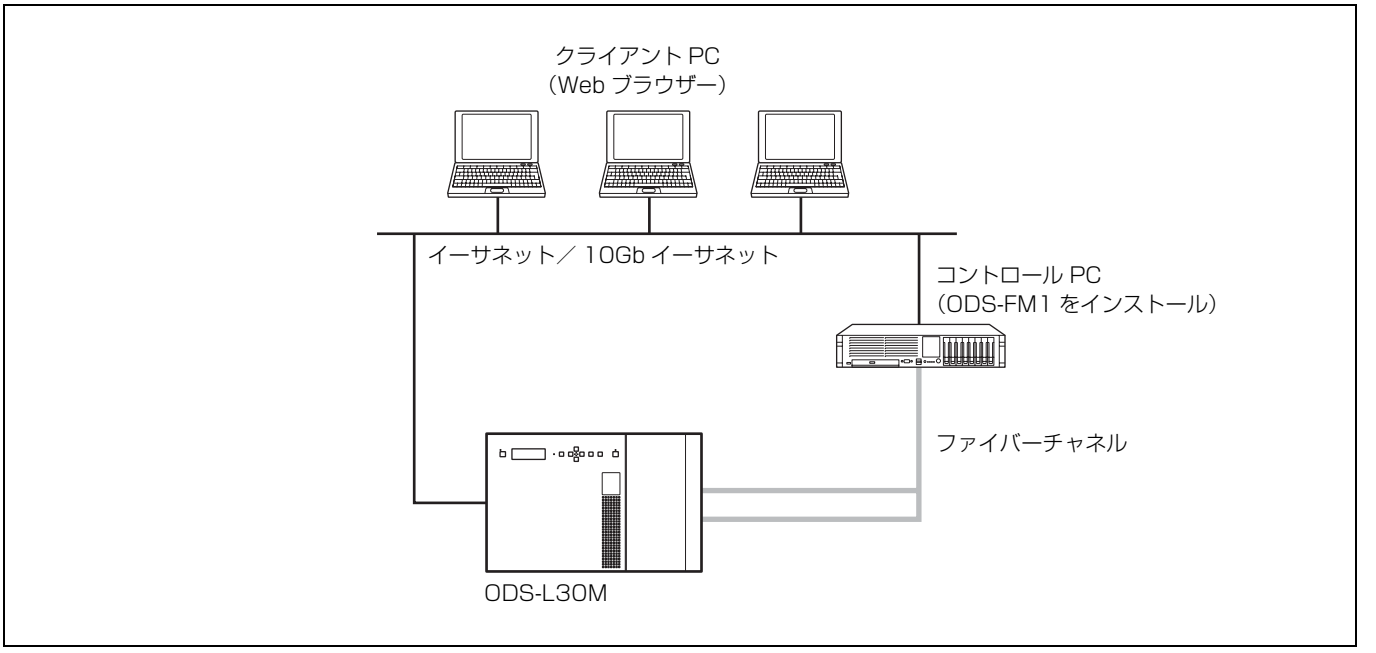
ODS-L10 と接続する場合

コントロール PC は、ODS-L10 が接続されているネットワークと、クライアント PC やネットワークストレージがあるネットワークの 2 つのネットワークと接続します。また、ODS-L10 に搭載されたドライブユニットと USB 3.0 で接続します。



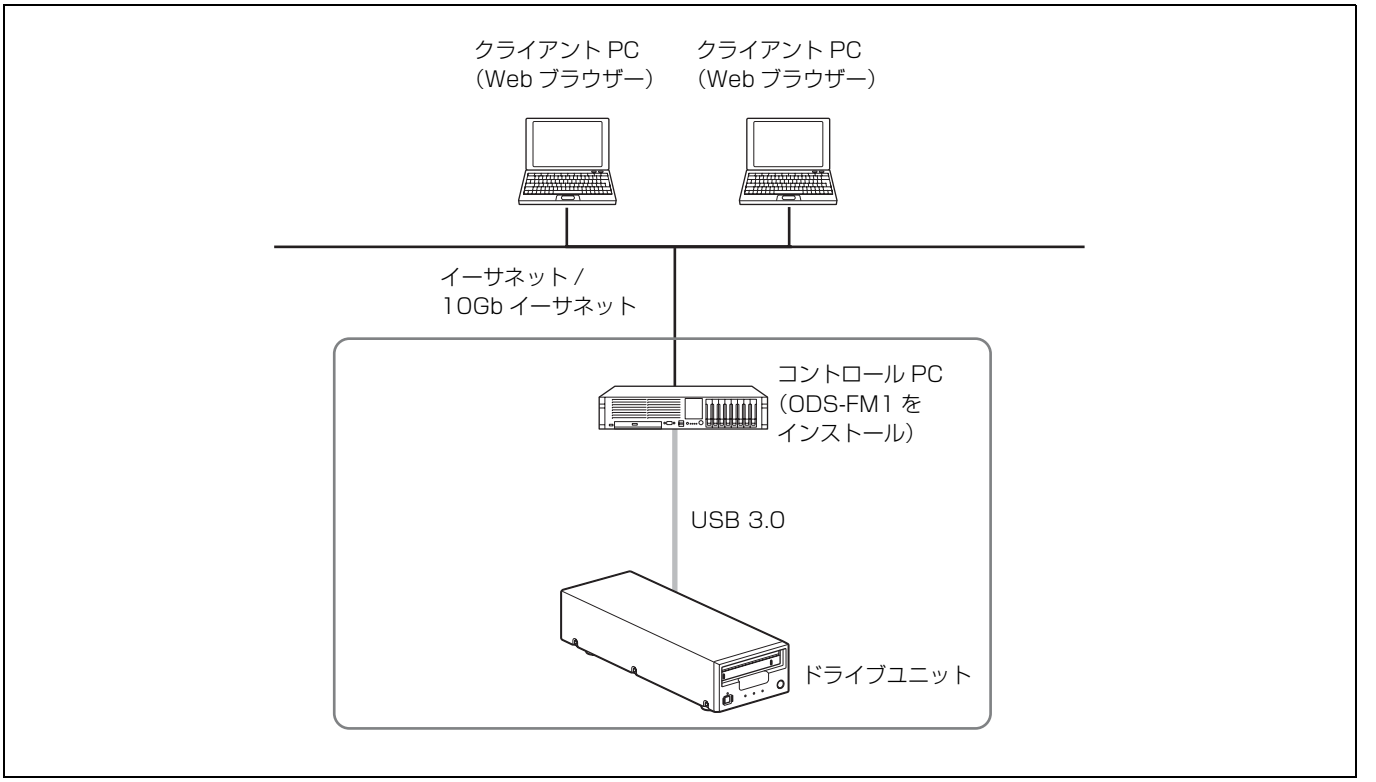
ODS-L30M と接続する場合

ODS-L30M に搭載されたドライブユニットとコントロール PC（サーバー）をファイバーチャネルで接続します。また、クライアント PC があるネットワークとコントロール PC を、イーサネットで接続します。



ドライブユニットを直接接続する場合

コントロール PC とドライブユニットを USB 3.0 で接続します。また、コントロール PC をクライアント PC やネットワークストレージがあるネットワークに接続します。



動作環境

コントロール PC、およびクライアント PC に必要な動作環境を以下に示します。

コントロール PC

CPU　Intel Core i5 3 GHz 以上

メモリー　4 GB

HDD 容量　100 GB
（ローカル HDD のファイルをアーカイブしたり、ローカル HDD にリトリーブする場合は、さらに 2 TB ×ドライブ数の容量が必要）

OS

- ODS-L10 またはドライブユニットと接続する場合：
  Windows 7 Professional 以上 64 ビット版
  Windows 8 Pro 以上 64 ビット版
  Windows 8.1 Pro 以上 64 ビット版
  Windows Server 2008 R2
  Windows Server 2012
  Windows Server 2012 R2
- ODS-L30M と接続する場合：
  Windows Server 2008 R2
  Windows Server 2012
  Windows Server 2012 R2

インターフェース

- ODS-L10 と接続する場合：
  Ethernet × 2（クライアント PC および ODS-L10 接続用）
  USB 3.0 ×ドライブ数
- ODS-L30M と接続する場合：
  Ethernet × 1（クライアント PC および ODS-L30M 接続用）
  ファイバーチャネル HBA（Host Bus Adapter）
- ドライブユニットを直接接続する場合：
  Ethernet × 1（クライアント PC 接続用）
  USB 3.0 × 1

クライアント PC

ハードウェア　以下の OS および Web ブラウザーが問題なく動作すること

OS　Windows 7 、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10
Mac OS X 10.8、10.9、10.10

Web ブラウザー　Microsoft Internet Explorer、Microsoft Edge、Google Chrome、Safari

ネットワークについてのご注意

使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者からアクセスされる可能性があります。ネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認のうえご使用ください。

準備

ここでは、ODS-FM1 をコントロール PC にインストールし、ODS-FM1 でオプティカルディスクアーカイブシステムを使用できるようにするための設定手順を説明します。

ご注意

- ODS-L10/ODS-L30M のファームウェアを最新のものに更新してください。
- Optical Disc Archive Software およびドライブのファームウェアを最新のものに更新してください。

オプティカルディスクアーカイブシステムの準備

コントロール PC を ODS-L10 に接続する場合

◆ ODS-L10 の操作について詳しくは、ODS-L10 のインストレーションマニュアルおよびオペレーションマニュアルをご覧ください。

1 ODS-L10 にドライブユニットを取り付ける。

ドライブユニットは、2 台まで取り付けることができます。

2 ODS-L10 の IP アドレスを設定する。

◆ 設定方法について詳しくは、ODS-L10 のオペレーションマニュアルをご覧ください。

3 コントロール PC に Optical Disc Archive Software をインストールする。

4 コントロール PC に ODS-FM1 をインストールする。

インストーラーの指示に従ってインストールしてください。

5 ODS-L10 に取り付けたドライブユニットとコントロール PC を USB ケーブルで接続する。

ドライブユニットが 2 台取り付けられている場合は、両方のドライブユニットをコントロール PC と接続します。

6 コントロール PC のネットワークポートに ODS-L10 があるネットワークを接続する。

ネットワークの設定について詳しくは、Windows のドキュメントをご覧ください。

7 ODS-L10 にオプティカルディスクカートリッジを入れる。

コントロール PC を ODS-L30M に接続する場合

◆ ODS-L30M の操作について詳しくは、ODS-L30M のオペレーションマニュアルをご覧ください。

1 ODS-L30M にドライブユニット ODS-D77F を取り付ける。

ODS-D77F は、2 台まで取り付けることができます。

2 ODS-L30M の IP アドレスを設定する。

◆ 設定方法について詳しくは、ODS-L30M のオペレーションマニュアルをご覧ください。

3 コントロール PC に Optical Disc Archive Software をインストールする。

4 コントロール PC に ODS-FM1 をインストールする。

インストーラーの指示に従ってインストールしてください。

5 ODS-L30Mに取り付けたODS-D77Fとファイバーチャネルスイッチを接続する。

ODS-D77F が 2 台取り付けられている場合は、両方のドライブをファイバーチャネルスイッチと接続します。

6 コントロール PC をファイバーチャネルスイッチと接続する。

7 ODS-L30M にオプティカルディスクカートリッジを入れる。

コントロール PC にドライブユニットを直接接続する場合

1 コントロール PC に Optical Disc Archive Software をインストールする。

2 コントロール PC に ODS-FM1 をインストールする。

インストーラーの指示に従ってインストールしてください。

3 コントロールPCとドライブユニットをUSBケーブルで接続する。

4 ドライブユニットにオプティカルディスクカートリッジを入れる。

ODS-FM1 の設定

ODS-FM1 の設定およびアクティベーションは、Library Software Configuration Tool で行います。

ご注意

アクティベーションを行う際にインターネットへの接続が必要になります。コントロール PC がインターネットに接続されていない場合は、インターネットに接続できる他の PC を用意してください。

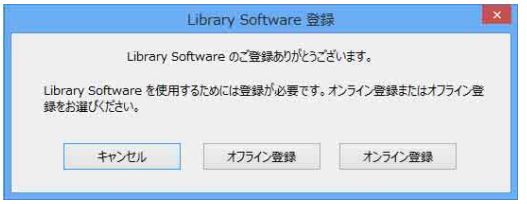
1 コントロール PC で、スタートから［Config Tool］を選択するか、C:¥Program Files¥Sony¥ODAFileManager¥ConfigTool.exe をダブルクリックして、Library Software Configuration Tool を起動する。

Library Software Configuration Tool は、管理者権限を持つアカウントで実行してください。

2 Library Software Configuration Tool を初めて起動する場合は、アクティベーションを行う。

コントロール PC がインターネットに接続されている場合

①［オンライン登録］をクリックする。



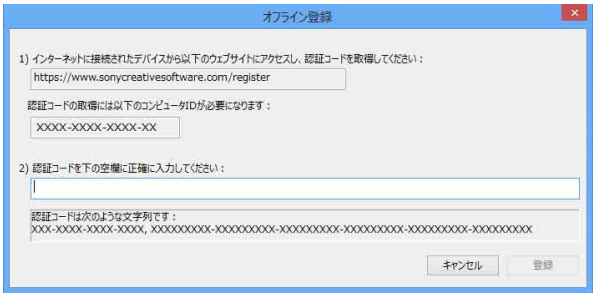
②必要事項を入力して、［次へ］をクリックする。

③シリアル番号を入力して、［次へ］をクリックする。
アクティベーションが行われ、Library Software Configuration Tool が起動します。

コントロール PC がインターネットに接続されていない場合

①［オフライン登録］をクリックする。

②［オフライン登録］ダイアログに表示された URL を、インターネットに接続されている PC の Web ブラウザーで表示させる。



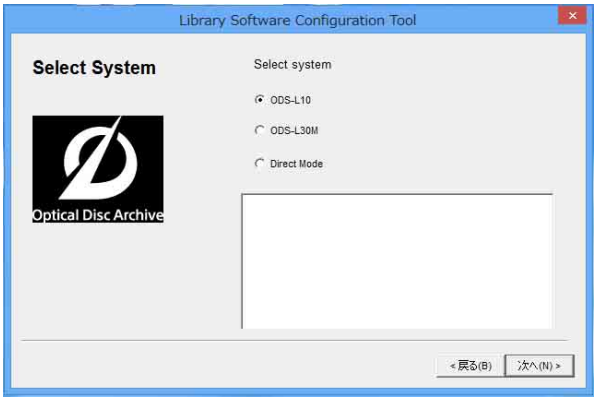
③ Web ページにシリアルナンバーとコンピューター ID（［オフライン登録］ダイアログに表示されている）を入力し、認証コードを取得する。

④コントロール PC の［オフライン登録］ダイアログに認証コードを入力し、［登録］ボタンをクリックする。
アクティベーションが行われ、Library Software Configuration Tool が起動します。

3 ［次へ］をクリックする。

4 Select System 画面で接続するシステムを選択する。

ドライブユニットと直接接続する場合は、「Direct Mode」を選択します。



5 Database Initialization 画面で［次へ］をクリックする。

データベースの初期設定が自動的に行われます。Select System 画面で「Direct Mode」または「ODS-L30M」を選択した場合は、手順 **9** に進んでください。
「ODS-L10」を選択した場合は、次の手順に進んでください。

6 ODS-L10 で設定した IP アドレスと ODS-L10 にログインするためのログイン名（ユーザー名）/ パスワードを入力し、［次へ］をクリックする。

ODS-L10 と接続します。
正常に接続すると、Drive Setting ページが表示されます。

7 ドライブのチェックを行うため、ODS-L10 に取り付けられていないドライブユニットがコントロール PC に接続されている場合は、コントロール PC から取り外す。

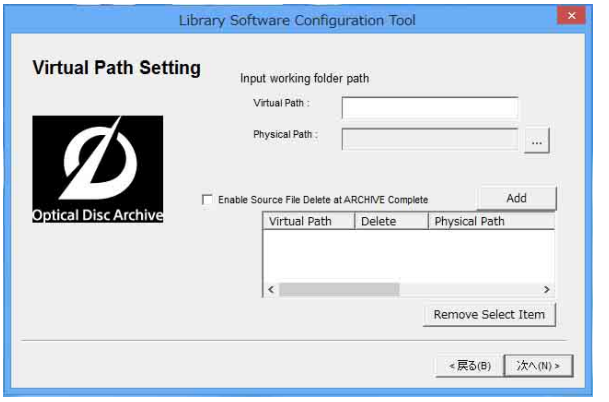
8 ［次へ］をクリックする。

ドライブのチェックが開始されます。
ODS-L10 に取り付けたドライブユニットが 1 台だけの場合は、上下どちらのスロットに取り付けたかを確認するメッセージが表示されます。下のスロットに取り付けた場合は［はい］を、上のスロットに取り付けた場合は［いいえ］をクリックしてください。
ドライブのチェックが完了すると、Administrator Setup 画面が表示されます。

9 ODS-FM1 にログインする際に使用するアカウントを作成する。ログイン ID とパスワードを入力し、［次へ］をクリックする。

10 ODS-FM1 のアーカイブ画面に表示するルートフォルダー（ベースパス）を設定する。

アーカイブ画面には、指定したベースパス以下のファイル / フォルダーのみが表示されます。公開するフォルダーを制限することで、システムファイルなどを誤って変更することを防げます。ベースパスは複数指定することができます。



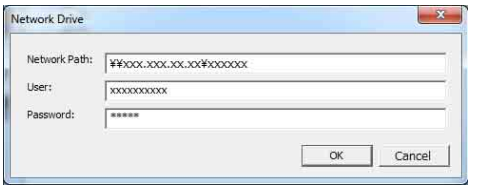
Virtual Path：ベースパスをアーカイブ画面に表示するときの名称を入力します。
Physical Path：公開するベースパスの物理パスを指定します。ネットワークドライブも指定できます。
Enable Source File Delete at ARCHIVE Complete：アーカイブ後に自動的にファイルを削除する場合に選択します。選択しない場合は、アーカイブされたファイルが削除されずに残るため、必要に応じて手作業で削除してください。
Add ボタン：指定した内容でベースパスを追加します。追加したベースパスは、下のリストに表示されます。

ネットワークドライブを指定するには

① [Physical Path] の [···] ボタンをクリックする。

② [Reference] ダイアログで [Network Drive] ボタンをクリックする。

③ [Network Drive] ダイアログの [Network Path] にネットワークドライブのパスを UNC 形式 (¥¥ サーバー名またはサーバーの IP アドレス ¥ フォルダー名) で入力する。



④ ユーザー名とパスワードが必要な場合は、[User] [Password] に入力する。

⑤ [OK] ボタンをクリックする。
追加したネットワークドライブが [Reference] ダイアログに表示されます。

⑥ ネットワークドライブを選択し、[Select] ボタンをクリックする。
[Reference] ダイアログが閉じ、選択したネットワークドライブのパスが Virtual Path Setting ページの [Physical Path] に表示されます。

⑦ [Virtual Path] を設定し、[Add] ボタンをクリックする。

11 ベースパスの設定が終わったら、[次へ] をクリックする。

12 完了画面が表示されるので、[完了] をクリックする。

13 コントロール PC のネットワークポートに、クライアント PC があるネットワークを接続する。

ODS-L10 と接続している場合は、ODS-L10 のあるネットワークとは別のポートを使用してください。
クライアント PC で Web 画面を表示して、オプティカルディスクアーカイブシステムを操作できるようになります。

ご注意

- コントロール PC にウィルス対策ソフトなどのセキュリティソフトがインストールされている場合、クライアント PC から 8080 ポートへのインバウンドアクセスがブロックされる場合があります。このような場合は、セキュリティソフトでポート 8080 へのインバウンドアクセスを許可するよう設定してください。設定方法については、セキュリティソフトの取扱説明書をご覧ください。
- ODS-L10 のハードウェア構成を変更した場合やドライブユニットの接続を変更した場合は、ODS-FM1 が正常に動作しなくなります。Library Software Configuration Tool で再度 ODS-FM1 の設定を行ってください。
- ODS-L10 の Web 画面の Setup Menu や本体前面のディスプレイで各種設定を変更した場合は Library Software Configuration Tool で再度 ODS-FM1 の設定を行ってください。
- ODS-FM1 を使用している場合は、Optical Disc Archive Filer を起動できません。Optical Disc Archive Filer を使用する場合は、ODS-FM1 のサービスを停止してから起動してください。(Optical Disc Archive Filer は、Optical Disc Archive Software に含まれています)

Web 画面の表示

クライアント PC で Web ブラウザーを表示し、アドレス欄に「http://（コントロール PC の IP アドレス）:8080/」を入力します。
Web ブラウザーがコントロール PC に接続されると、ログイン画面が表示されます。Library Software Configuration Tool で設定したユーザー名とパスワードを入力してログインします。

ODS-FM1(WW)
4-465-745-**06** (1)

Sony Corporation
http://www.sony.co.jp/

© 2013